



のいち

文責：小杉 龍司

● 学校教育目標

笑顔と「ありがとう」があふれる学校

● こんな児童にしたい

よくきく子 なかよくする子 がんばる子



6年生修学旅行で学んだ震災・歴史

10月18日～20日に6年生が修学旅行に行って来ました。今年はコロナ感染による制限もなく、無事に神戸での震災学習や奈良での東大寺や法隆寺見学など、予定通り実施することが出来ました。一日目の北淡震災記念公園や人と防災未来センターの見学では事前学習を生かしながら、どの子も真剣な態度で学ぶ様子が見られました。特に震災を体験された語りべの方のお話は子どもたちの心に深く残ったようです。また、二



日目の東大寺の大仏の迫力や法隆寺の厳かな雰囲気など、インターネットでは伝わらない、本物に触れる貴重な体験をすることができました。集団行動としても「考えて動く」ことが実践され、礼儀正しく立派な姿が見られ、さすが野市小学校の最上級生だと感心しました。こうした姿を下級生にも伝えてほしいと期待しています。

ご紹介した6年生以外の1～5年生も、校外での体験学習や幼稚園・保育園との交流学习、研究発表会での公開授業など、いろいろな活動で頑張っています。詳しくは、学年通信や学級通信をご覧ください。

第15回香美・香南小学校陸上記録会

お知らせが遅くなりましたが、10月6日（金）県立青少年センター陸上競技場にて、3年ぶりとなる香美・香南陸上記録会が開催されました。本校からも5・6年生代表が出場し、立派な記録を残しましたので、ご報告します。

- 男子100m :【5年】吉田瑠音, 正木柊丞 【6年】犬伏 光, 坂口聖玄 (★大会新)
- 女子100m :【5年】佐竹心菜, 藤原柚音 【6年】藤田陽音渚, 浅尾果音
- 男子ボール投げ:【5年】戸田結太, 長尾連太郎 【6年】市川倫大, 中越陽都
- 女子ボール投げ:【5年】片山 奏, 倉橋莉桜 【6年】沖田花瑠, 濱田悠里
- 男子走り幅跳び:【5年】中澤斗蒼 【6年】坂本文太, 繁耕 健
- 女子走り幅跳び:【5年】山崎 葵, 三田那奈 (★大会新) 【6年】畠中 倅, 三柴一乃
- 男子走り高跳び:【5年】三木春汰, 国澤一翔 【6年】川村咲多, 山本藍澄
- 女子走り高跳び:【5年】大黒美咲, 山下なつ萌 【6年】寺本彩花音, 小松由依



野市町PTA 体育大会お疲れさまでした！

29日（日）青少年センターにて野市町PTA 体育大会が3年ぶりに開催されました。今年は本校が当番校で、準備から運営、片付けまでPTAの皆様には大変お世話になりました。試合は、野市小Aチームが見事に優勝を果たしました！おめでとうございます！

雑巾を寄贈いただきました

先日、地域の「古民家でいホームきずな」より学校へたくさんの雑巾を寄贈頂きました。一枚一枚手縫いで丁寧に仕上げられたものです。保健室で管理し、大切に使用させていただきます。

子どもたちの新聞掲載作品を紹介します

今回も多くの子どもたちの作品が掲載されました。

ニンビにおいかけられた
 ★香南市・野市小★
 おねえちゃんといっしょにイオンのお化けやしきに行きました。中にかざられている人の目が光ってわくわくしていました。ニンビにおいかけられた。えんどうのふんをのびました。くわがったからまの見えるなかつたけど、こわく楽しかったです。さいごに、人がいないのに「アハハハ」といって音が聞きました。とてもこわく思いました。(2年 原佐留記者)

R5・9・27 付子ども高知新聞

R5・10・22 高知新聞
 「レッツ〜五・七・五」

おにじいこの町のむこうにじを見た
 香南市野市小2年 西山 颯介
 アキアカネたまごをうんでとびたつよ
 香南市野市小 藤原 竜将

将来の仕事探し
 上野 寛仁 香南市野市小5年
 ぼくはこの夏、将来の仕事探しの旅に出ました。ぼくが、いろいろなぼくはないかと探してると、お母さんとお父さんが「キッサニアがあるよ」と教えてくれました。そこで、家族でキッサニアに行くことになりました。ネットで調べてみると、そこで体験できる仕事の種類が10個もあると知って、とてもワクワクしました。実際にしてみると外観が予想より小さかったので、少し心配になりました。館内に入ると空港のようなゲートがあつて、飛行機のチケットの成しました。ぼくは、いつもしているゲームが、どれだけ手間がかかっているかというところを知ることができたので、よかったです。そして、いろいろな職業を体験できるようになっていきました。ぼくはゲームが好きだったので、ゲーム会社の体験をしました。おもしろかったです。他にも、飛行機のパイロットや電車の運転士なども体験してみました。どれも、おもしろかったです。最初は制服を着て自分の席にすわり、ルールややり方を聞いてから、プログラミンクしながらテストプレーをやりたいたいと思えました。将来の仕事探しの旅は、とても楽しかったです。

R5・9・28 付高知新聞「声ひろば」

沖の島に行った
 井上 悠陽 香南市野市小5年
 家族で、お母さんの実家がある沖の島に行きました。朝4時に出発して、時間近くかかって御手巾に着き、それから船で1時間近くかけて着きました。荷物置いてまず、畑に行きました。3ヶ月くらい放置していたので雑草がたくさん生えていて、お父さんが草取り機でかきました。それから、みんな海に行つて泳ぎました。妹は、サマは泳がないのに「サメがいるよ」と言っていて大泣きしていました。次の日も、寺の下に泳ぎに行きました。この日も天気良かったです。九州がうっすら見え、泳いでいくとタコやコチのほかに、ひれにとく針をもつミノカサゴという魚もいました。泳いでいて海草みたいなものをくわっていき、すつと穴の中に入っていました。生き物だったので、びっくりしました。島から帰るとき、船からドラオが飛んでいたりイルカが10頭ほど泳いでいたりしました。とてもたくさん生き物を見ることができてよかったです。まゆの島に行きました。

R5・10・6 付高知新聞「声ひろば」

R5・10・9 付子ども高知新聞
全国大会に行きたい
 ★香南市・野市小★
 バレーボールの全国大会のよせんがありました。ぼくは、勝ったら、東京に行けるのでワクワクドキドキしました。東京に行くなんてめったにないのでがんばりました。でも、いずみのというチームに負けてしまいました。相手はとてもよかったです。負けたので東京に行けなくなりました。ぼくは、これがさいごのチャンスだと思っていました。それは、とてもうまい6年生がいなくなるので、来年行けるか分からないからです。お姉ちゃんに聞くと、「中学校ではあまり全国大会に行けん」と言っていました。だから、ぼくは小学生の時に全国大会に行きたいです。5年生で、いずみのに勝てたらいいなと思いました。(4年、中岡空記者)

カンパチさばいたよ
 ★香南市・野市小★
 きょうぼくは、いちほでカンパチとアブリをかつかいて、家でカンパチをさばきました。まず、うろこをとって、頭とたいをとり、水でうろこを洗った。きくに、三まいおろしにして、ちあひほをとりました。さいごに切つてもりつけて、さしみにしました。ほねをよけて切るのが、ほんむすかしかったです。アブリは、ほちちうでかほしちをのけて、さしみにしました。「ほんむすかしかったのは、かほしちをほすこところです。きはナイをさしてさしたよ。」

R5・10・20 付子ども高知新聞

おまじないをかけるよ
 ★香南市・野市小★
 今日、学どうでマジックショーを見ました。すこかったです。まずは、トラ耳さんという人が見せてくれました。ハトの絵をかいた紙を本にはさんで、おまじないをかけると、その紙から白いハトが出てきました。すこかったです。本物のハトでした。ほかにもいろいろなマジックを見せてくれました。さいごに、白いハトをさわらせてくれました。かわいかったです。また、マジックショーを見たいと思います。(2年、古橋幸ノ助記者)

R5・10・14 付子ども高知新聞

楽しかったVR体験
 ★香南市・野市小★
 きげんという会社の見学に行きました。いろいろなながいがありました。一ぼん乗しかつたのは、VR体験でした。本当にゲームの中に入ったみたいでした。おもしろいメカガネをかけて、ちよつとかわつたコントローラーをもちました。いろいろなルールを聞いて、いよいよ本番です。自分がくいをうめるきかいになつて、なるべく真ん中にうめるというゲームでした。ちよつとむすかしかったです。いもうともやってみたら、ぼくよりもううつのほうができていました。すこいと思えました。すこいおもしろかったです。また行ってみたいと思います。(2年、古橋幸ノ助記者)

R5・10・8 付子ども高知新聞

おかし工場を見学
 ★香南市・野市小★
 今日、クラスのお友達と、バスにのつて、はまごうのおかし工場へ社会科見学に行きました。工場の中は広くて、大きなきかいがたくさんありました。ぼくは、おかしを作るときを知られると思つたけど、見るのができなくてきんねんでした。出来上がったおかしをほにつめたり、おかしのおもきを量つたりするところは見学することができました。おかしを作るのに、たまも小麦粉もたくさん使われていました。おみやげにもらつた「かんきし」は、ホテルにつつまれていました。どうしてホテルにつつまれているか知りたいたいです。(3年、服部龍也記者)

R5・10・13 付子ども高知新聞

自然の中でスリル味わう 高橋 志槻 香南市野市小6年
 わたしは津野町にある「フォレストアドベンチャー高知」というところに、友達や家族といっしょに行つてきました。そこには、自然を楽しむことのできるアウトドアパークです。着くまではずこくワクワクしていましたが、そこに着いて他の人がジップラインを滑っているのを見た時「えっ、これを滑るの？」と、怖さ思わず声が出てしまいました。実際、そこに立つてみると足がすくんでしまい、なかなか前に進むことができませんでした。わたしはおそる、コースを回つて行きました。ジップラインも怖かつたけど、わたしが一番怖かつたのはネットに跳び移るといふものでした。命綱があることはわかつていても、心臓がバクバクしました。跳んだ時に、真顔になつているのが自分でもわかりました。でも全体のコースが終つてみると、楽しくてスリルがあつたし、ジップラインはすぐ風が気持ちよくて、自然を感じることもできておもしろかったです。みなさんも、自然の中でスリルを味わうことができる「フォレストアドベンチャー高知」に、ぜひ行ってみてほしい。

R5・10・20 付高知新聞「声ひろば」

ぶしもどつたカブトムシ
 ★香南市・野市小★
 あき、カブトムシをかっているネットボトルを見ると、カブトムシがいなくなつていました。「土にもくつたと思つた」とお父さんが言いました。お父さんとお父いちゃんとおぼくがさがしはじめました。いろいろさがしても見つからなかつたけど、さいごはお父さんが見つめました。カブトムシはカーテンをきゅつつかんでいました。お父さんがつまんでもきゅつつかないから、カブトムシもきゅつつかんでいたので、たいへんそうでした。カブトムシがぶしにもどつてよかったです。(2年、羅佐浩記者)

R5・10・17 付子ども高知新聞